

## 平成29年度 公の施設目標管理型評価書

施設名	新潟市西総合スポーツセンター（有料） ※プール有り		
管理者名	(公財)新潟市開発公社	指定期間	平成26年4月1日 ~ 平成31年3月31日
担当課	西区地域課		
所在地	西区五十嵐1の町6368番地48		
根拠法令	スポーツ基本法		
設置条例	新潟市体育施設条例		
施設概要	敷地面積 37,091㎡ 建築構造 鉄筋コンクリート造（一部鉄骨造鉄筋）2階建 主な施設内容（構成施設の内容） 大体育室 1,570㎡ トレーニング室 390㎡ 屋内プール 945.5㎡ 屋内ゲートボール場 1,471㎡ 庭球場 3,789㎡		

### 施設設置目的

スポーツの普及振興を図り、市民の心身の健全な発達と明るく豊かな市民生活の形成に寄与することを目的として、体育施設を設置する。

### 管理・運営に関する基本理念、方針等

- (1)新潟市体育施設条例並びに新潟市都市公園条例（以下「条例」という。）に基づき、スポーツの普及および振興を図り市民の心身の健全な発達と明るく豊かな市民生活の形成に寄与する管理運営を行うこと。
- (2)公の施設管理運営の責務を認識して管理運営を行うとともに、サービスの向上や平等利用が確保すること。
- (3)利用者の意見及び要望を管理運営に反映させること。
- (4)利用者に対し、安全で快適な環境を提供すること。
- (5)新潟市個人情報保護条例に基づき、個人情報の保護を徹底するとともに、業務上知り得た情報について守秘義務を遵守すること。
- (6)効率的かつ効果的な管理運営を行い経費の削減に努めること。
- (7)法令を遵守し施設の管理運営を適切に行うこと。
- (8)指定管理者制度を理解し、実践すること。

視 点	評価項目	評価指標	実績	評価	評価コメント
市民	基準利用者数の達成	・個人利用者数 246,400人(但し、大会等利用による利用制限等を考慮し評価する)	230,164人 ※未達	C	降雪の影響にも拘らず、昨年度の個人利用者数 227,110人を上回っている
	基準利用率の達成	・利用率平均60%以上(利用時間数/利用可能時間数)(但し、大会等利用による利用制限等を考慮し評価する)	78.6%	A	目標を18%以上上回る
	苦情・要望に対する対応	・苦情・要望には 3営業日以内に回答	・適切に対応している。	B	
	設置目的に合致したサービス提供	・スポーツ教室延べ参加者数 36,000人以上	32,638人参加 ※未達	C	昨年度の実績を下回る
財務	市の歳入の増加	・年間使用料収入(免除料金除く)58,490千円以上(但し、大会や市の主催事業等による使用料免除について考慮し評価する)	57,422,582円 ※未達	C	昨年度の実績をやや上回っている。降雪による影響が大きかった
	管理運営経費の削減	・管理経費を抑える取り組みの実施 5件以上	・電力会社の入札による選定 ・節水コマの設置(継続) ・電子決裁によるペーパーレス ・経費執行案件の複数社見積もり合わせ ・スライド勤務による超過勤務手当の削減 ・代休取得による超過勤務手当の削減 等	B	
業務	地域貢献・地域連携	・地域貢献活動(連携事業) 年2回以上実施	・五十嵐浜海岸清掃の参加 ・西区ウォーク:スタッフ参加 ・西っ子ふゆまつり:ブース参加 ・東青山小学校:学年行事指導参加 ・近隣小、中学校職場体験協力 ・新潟大学インターン協力 等	B	
	改善勧告時の対応の迅速さ・適切さ	・改善内容に応じて軽易なもの即日、時間を要するもの1週間以内に改善対応	・適切に対応している。	B	
	当該施設の管理に係る関係法令の順守	・コンプライアンス研修等 年2回以上実施	・接遇研修 ・個人情報保護、守秘義務研修 ・コンプライアンス研修 他	B	
	安全確保体制の確立	・防災訓練 年2回以上実施(消防訓練・救命救急訓練など)	・消防訓練 2回 ・水難救助訓練 13回 ・普通救命講習Ⅱ 1回	A	目標を大幅に上回る
	事件・事故発生時の対応の適切さ	・AED取扱講習、応急処置講習を全員が受講	・水難訓練時にAED講習を実施 ・普通救命講習Ⅱを全員が受講 ・応急手当普及員資格をスタッフが保有	B	
	業務基準書等に定める事項の遵守	・その他業務基準書等に定める事項の遵守	・適切に対応している。	B	
人材	配置人員のミッションの理解度とスキルの習得度	・職員研修を年6回以上実施	・新人研修 ・接遇、マナー研修 ・インストラクション(教室指導)研修 ・平等利用研修 ・木製床管理講習会 ・防災、防犯、危機管理教育講習会 他	B	
	労働基準の充足	・労働関係法令の遵守	・適切に対応している。	B	

【評価基準】  
A：要求水準（＝評価指標）を達成し、かつその達成度・内容が優れている。  
B：要求水準（＝評価指標）を達成されている。  
C：要求水準（＝評価指標）を達成されていない。

指定管理者記載欄(アピールしたい事項・未達成項目への改善策等)  
・当社は西総合スポーツセンターへ訪れるすべてのお客様が安心・安全にご利用いただけるようスタッフの教育に注力しています。  
・未達成目標について  
個人利用者数、年間使用料収入の数値目標未達成については平成30年1月、2月の降雪が大きく影響している。  
※個人利用者数は前年度比で1.3%増加している。1・2月を除けば平均で前年度比4.6%増加している。  
※年間使用料は前年度比 -1,233,460円(1・2月分)  
スポーツ教室延べ参加者数については新規プログラムの導入や開催回数を増加することで目標数値の達成を目指す。  
※H29年度は34,000人で予算を組んでいた。降雪の影響もあるが改善の余地も見られる。反省し活かしたい。

所管課による総合評価(所見)  
各種目揃った複合施設であり、利用者の年齢層や要求レベルも幅広く、管理の難易度としては比較的難しい施設であるが、お客様の要望やレベルに応じて安全・確実に管理している。特に、プール、アーチェリーなど、利用者の生命にも直結しかねない施設については、水難訓練や設備点検を行い、徹底してルールを遵守している。  
料金改正により個人利用者は尚も増加しているが、ニーズに応じた備品を充実させつつ各種点検を行い、安全快適な施設管理を維持している。「スポ柳都にいがた」の目標達成のため、引き続きスポーツ教室などを通じた運動のきっかけづくりを実施すると共に、継続のため公共施設の個人利用へと繋げていくサイクルを作り、身近な地域の基幹体育施設としての役割に期待する。